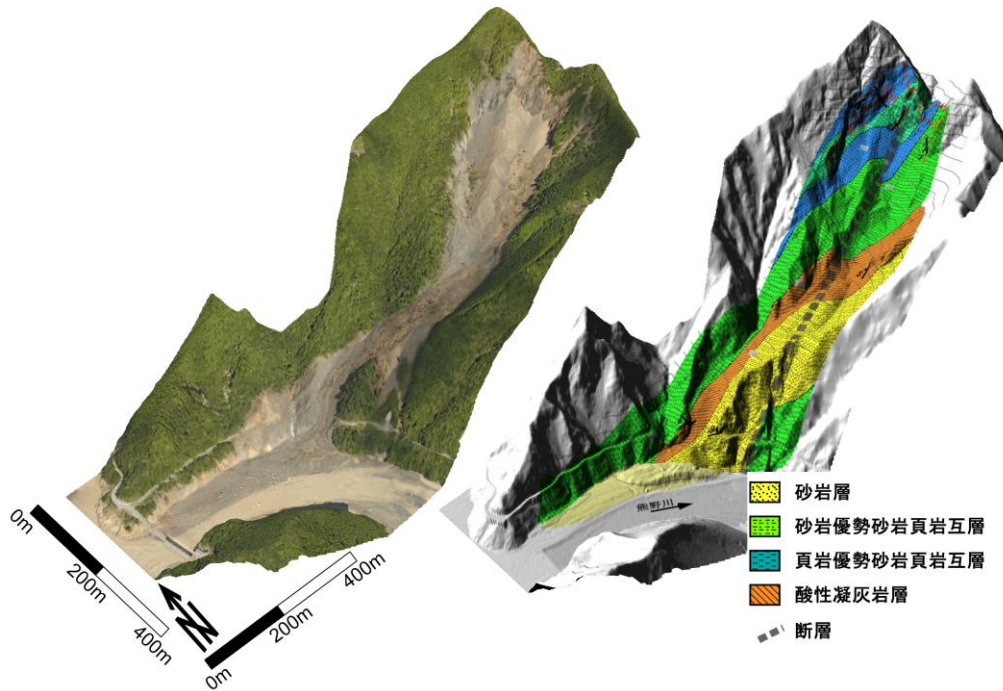


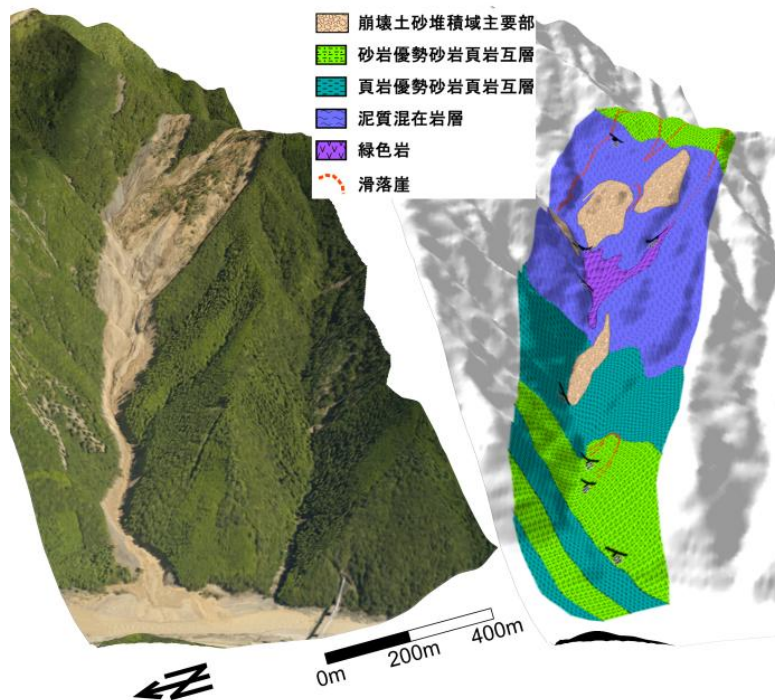
講座：平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓
—「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言—

3. 奈良地域の災害の実態

(本文40～47ページ参照)

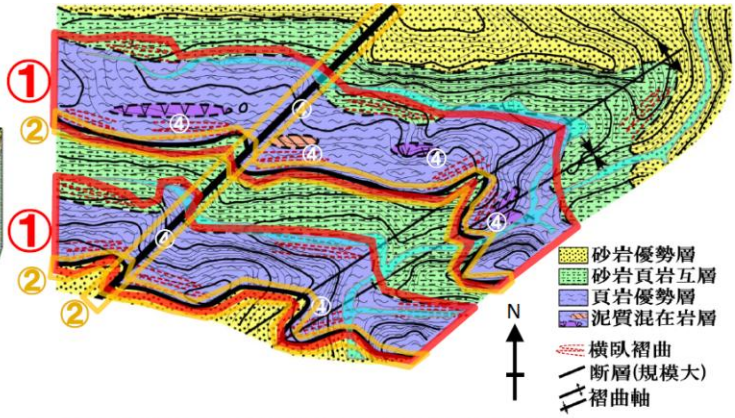
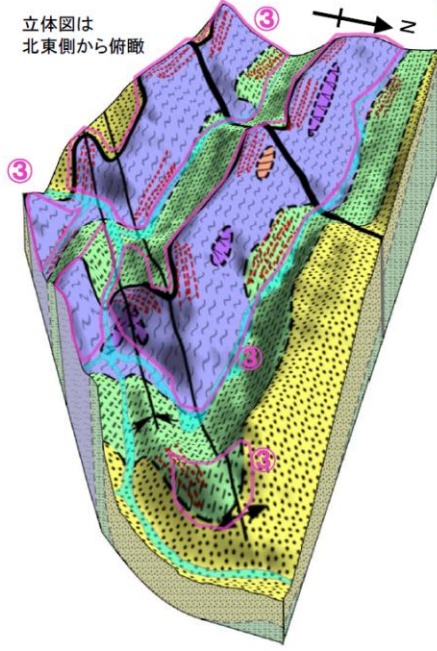


口絵写真-5 濁谷崩壊地の南西側からの俯瞰写真と地質投影図
(奈良県提供によるLP測量DEM・写真を利用)



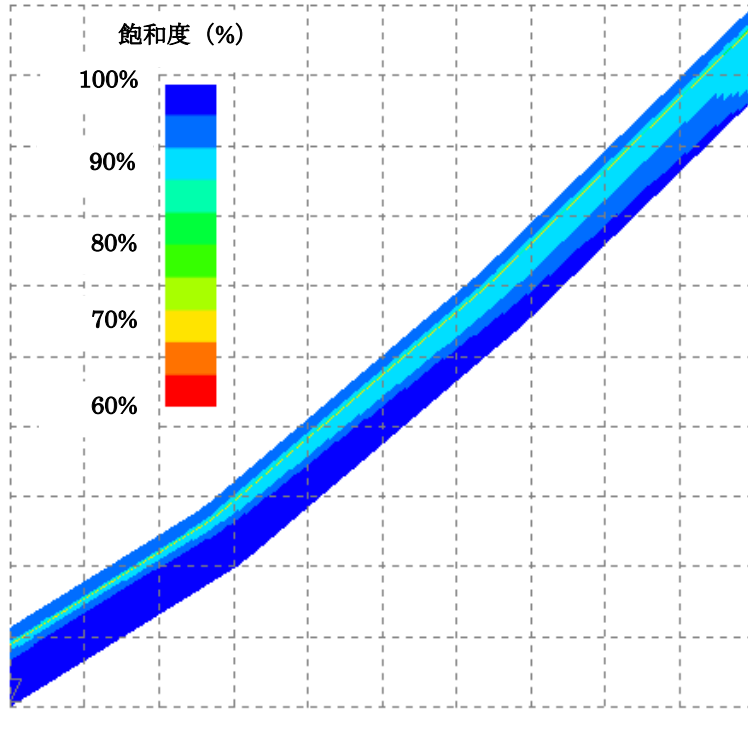
口絵写真-6 野尻崩壊地西側からの俯瞰写真と地質投影図
(奈良県提供によるLP測量DEM・写真を利用)

立体図は
北東側から俯瞰



1. 脆弱さの条件: 脆弱で崩壊しやすい岩質が厚く発達する。
付加体における構造的にせん断され、岩質的に脆い層準①
付加体を形成するスラストや横断断層などに伴う破碎帯②など
2. 大規模に滑る構造方位の条件: 流れ盤をなす構造面が発達する。
層理面やせん断面、節理などの面構造が斜面に平行に発達③
3. 水文条件: 集水・通り道や滞留層・不透水層などの地下水が
集水・滞留しやすい水文条件がそろう。
集水・通り道では横断断層や向斜構造、滞留層としての割れ目が多い泥質岩とその直下の難透水層としての厚い砂岩層やチャート・
緑色岩塊の重なりが発達④
4. 要因の複合
一つの地質的素因だけでなく、それらが複合する場合に、
より大規模崩壊が発生しやすい(①+②+③+④)

口絵写真-7 付加体における大規模崩壊に関わる素因のまとめ



口絵写真-8 浸透流解析結果飽和度分布図 (最大時間雨量観測時刻)